

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】令和2年3月19日(2020.3.19)

【公表番号】特表2019-514119(P2019-514119A)
 【公表日】令和1年5月30日(2019.5.30)
 【年通号数】公開・登録公報2019-020
 【出願番号】特願2018-552688(P2018-552688)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 21/56 (2013.01)

【 F I 】

G 0 6 F 21/56 3 2 0

【誤訳訂正書】

【提出日】令和2年1月29日(2020.1.29)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項4】

前記参照特徴は、前記入力プログラムから参照されるプログラム及び参照される関数のリストのうちの少なくとも1つを含む、請求項1に記載の方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項13

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項13】

前記参照特徴は、前記入力プログラムから参照されるプログラム及び参照される関数のリストのうちの少なくとも1つを含む、請求項10に記載のシステム。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0066

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0066】

典型的な一実施形態において、プログラムA 402は、プログラムB 404の関数B1 405とプログラムC 406の関数C1 407とを用いる。この典型的なプログラムからの参照特徴は、ブロック410において、より詳細に示される。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0068

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0068】

表1：リソース特徴

【表 1】

リソース特徴

種類	値
文字列	「バージョン 1.0.1」
文字列	使用:プログラム
シンボル	関数 A
グローバル データ	192.168.1.0
グローバル データ	255
アイコン	バイナリデータ

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0070

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0070】

表 1 で示したように、リソース特徴のこの例において、このテーブルは、種類 (Kind) の列を有し、データは実際に測定及び / または受信した値 (Value) である。この例は、いくつかの文字列と、プログラム関数シンボルと、読み出し専用セクションからのグローバルデータと、メタデータに属するアイコンデータとを示している。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0080

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0080】

ハイブリッド特徴パラメータ 608 は、以下のように表すことができる。

C__F : 参照特徴のためのパラメータ

C__R : リソース特徴のためのパラメータ

C__C : 抽象化制御フロー特徴のためのパラメータ

C__S : 構造特徴のためのパラメータ

C__F、C__R、C__C、C__S は、0 と 1 との間の比率である。

$$C_F + C_R + C_C + C_S = 1$$

C__F__P : 類似したプログラム参照と照合するための閾値

C__F__F : 類似した関数参照と照合するための閾値

【誤訳訂正 7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0092

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0092】

一実施形態において、プログラム P 1、P 2 の参照特徴 704、714 の類似度比較 724 は、以下のように実行すればよい。

【数 1 1】

```
Sim_F(F_F(P1), F_F(P2), C_F_P, C_F_F)
  Total = Min(|F_F(P1)|, |F_F(P2)|)
  Count = 0
  For (RP1, RF1) from F_F(P1)
    For (RP2, RF2) from F_F(P2)
      If (Difference(RP1, RP2) <= C_F_P and Difference(RF1,
        RF2) <= C_F_F)
        Count+= 1
  return Count / Total
```

ここで、R P はプログラム基準を表し、R F は関数基準を表す。

【誤訳訂正 8】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 9 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 9 7】

様々な実施形態によれば、参照特徴 7 2 4 の比較において、例えば類似するプログラム名及び関数名を照合するために閾値を用いてもよい。例えば、同じライブラリの異なるバージョン（例えば、L i b X _ _ V 1 及び L i b X _ _ V 2 ）は、閾値を用いて照合できる。対応する 2 つの閾値は、C _ _ F _ _ P 及び C _ _ F _ _ F として追加される。

【誤訳訂正 9】

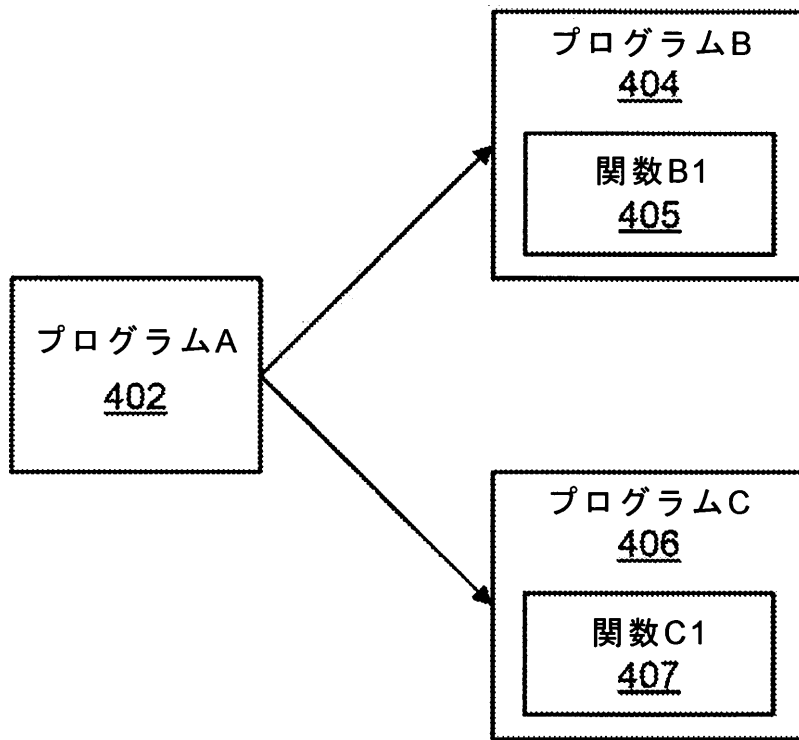
【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図4】
400



参照特徴 <u>410</u>	
プログラム	関数
B	B1
C	C1